

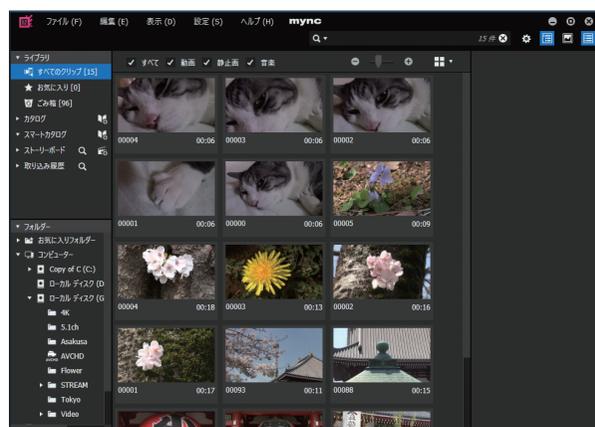
## 01

Mync と EDIUS Pro の  
関係を理解する

Mync(ミンク)はEDIUS Proに付属している、素材データを管理するためのアプリケーションです。EDIUS Proを使いこなすためには、Myncの機能を理解することが重要です。

## ▶ Mync について

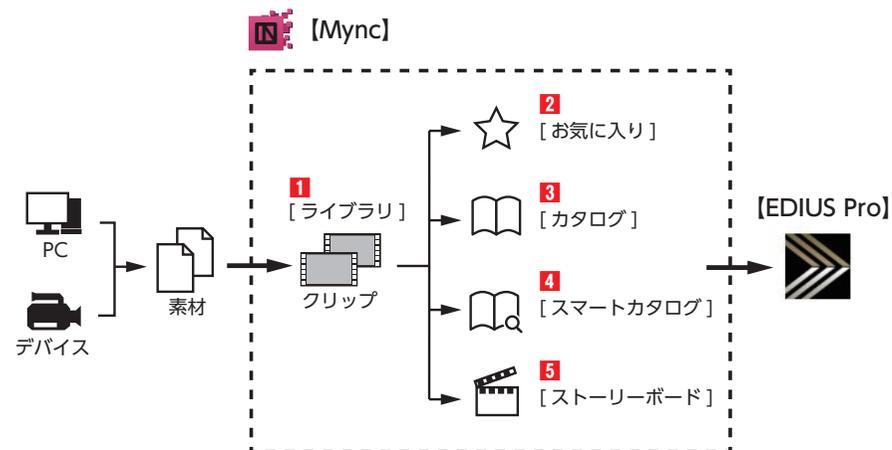
EDIUS Proをインストールすると、付属する「Mync」という素材管理ツールも自動的にインストールされます。Myncはこれまで「GV Browser」と呼ばれていた素材管理ツールが機能アップして、EDIUS Proから独立したアプリケーションです。このため、EDIUS Proとは別にMyncだけ単体でも販売されています。



▲Myncの素材管理画面。EDIUS ProをインストールするとMyncもインストールされる。

## ● Myncの主な機能

Myncはさまざまなフォーマットの素材データを「ライブラリ」のクリップとして登録できます。各クリップをさらにカテゴリーごとに分類できます。



▲Myncの主な機能。

- 1 パソコンやビデオカメラから取り込んだ「素材」データは、Myncの「ライブラリ」に登録されます。ライブラリに登録された素材を「クリップ」と呼びます。
- 2 ライブラリで選択したクリップを「お気に入り」に登録します。
- 3 ライブラリで選択したクリップをテーマごとに分けて、「カタログ」としてグループ化します。
- 4 検索条件で選択したクリップを「スマートカタログ」としてグループ化します。
- 5 「ストーリーボード」でムービーを編集・新規作成することも可能です。

Myncは素材管理だけでなく、かんたんな操作でムービーを作成する、YouTubeなどの動画共有サイトにアップロードするなど、簡易編集ツールとしても利用できます。Myncの主な機能を以下にまとめます。

- ・素材データを管理する。
- ・動画素材をプレビュー(再生)する。
- ・素材を「サムネイル」「詳細」「カレンダー」「タイムライン」などの形式で表示できる。
- ・ビデオカメラ、スマートフォン、USBメモリ、SDメモリーカードなどにある素材を自動認識する。
- ・「ストーリーボード」で動画の簡易編集ができる。
- ・YouTube、Facebook、Vimeoなどの動画配信サイトにアップロードできる。
- ・2 in 1、タッチパネルでの操作にも対応する。

## ● EDIUS Proとの連携機能

EDIUS Proに付属するMyncを利用すると、EDIUS Proと連携してスムーズな編集作業ができます。もちろん、Myncを利用せず、EDIUS Proのソースブラウザーだけでも作業は可能ですが、Myncで素材の仕分け作業をしておけば、EDIUS Proですぐに編集作業を開始できます。

MyncとEDIUS Proは以下のような連携が可能です。

- ・EDIUS ProのソースブラウザーにMyncのカタログやスマートカタログなどのグループ分けをそのまま表示できる。
- ・Myncのストーリーボードで編集した内容をクリップとして扱うことができる。
- ・MyncのカタログをXML出力して、EDIUS Proのビンにインポートできる。
- ・EDIUS Proの編集結果をMyncに登録し、YouTubeなどの動画共有サイトにアップロードできる。
- ・Myncのみ単体でも起動できる。

## POINT

## 単体販売のMyncはEDIUS Proと連携できない

EDIUS Proと連携できるのは、EDIUS Proに付属しているMyncだけです。単体で発売されているMyncはEDIUS Proとの連携はできません。なお、Myncと連携できるのは、Myncを標準で搭載ようになったEDIUS Pro 8以降のバージョンに限られます。

## 02

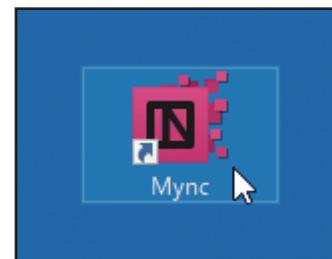
## Mync を起動する

実際に Mync を起動してみましょう。Mync を起動するには、デスクトップ上に置いた Mync のアイコンから起動する方法と、EDIUS Pro から起動させる方法の2種類があります。

## ▶ アイコンから Mync を起動する

Mync のインストール時にデスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックします。Mync の起動時に「インフォメーションボード」が表示された場合は閉じてください。

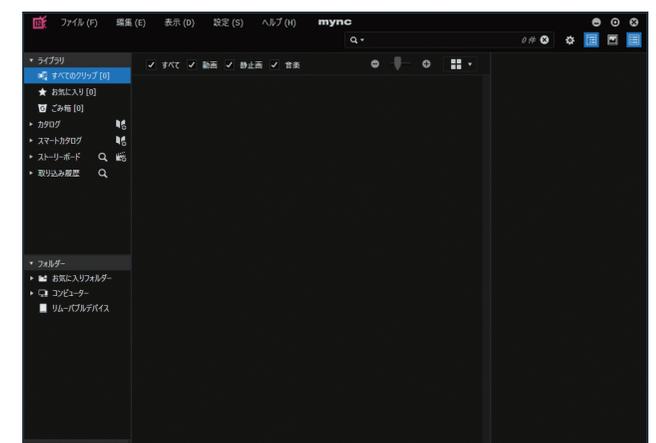
デスクトップ上のアイコンから Mync を起動する



▲アイコンをダブルクリックする。



▲インフォメーションボードが表示されたら「閉じる」ボタンをクリックする。



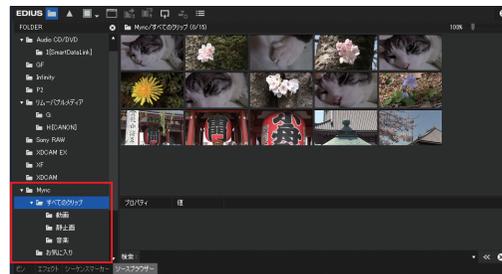
▲Mync が起動して編集画面が表示される。

## Myncで素材を取り込む



▲Myncは素材データを「ライブラリ」のクリップとして登録する。

## Myncの状態をそのままEDIUS Proで利用できる



▲EDIUS Proの「Mync」フォルダ内はMyncと同じフォルダで構成されている。

## ▶ Mync が対応するフォーマット

Mync は以下のようなフォーマットに対応しています。

## ●ファイル拡張子

\*.3g2、\*.3gp、\*.aac、\*.amc、\*.asf、\*.avi、\*.bmp、\*.dib、\*.dif、\*.dpx、\*.dv、\*.ec3、\*.emf、\*.f4v、\*.gif、\*.icb、\*.idx、\*.iff、\*.jif、\*.jpeg、\*.jpg、\*.m2a、\*.m2p、\*.m2t、\*.m2ts、\*.m2v、\*.m4v、\*.mod、\*.mov、\*.mp4、\*.mpeg、\*.mpg、\*.mpo、\*.mpv、\*.mts、\*.mxf、\*.pct、\*.pic、\*.pict、\*.png、\*.psd、\*.r3d、\*.rgb、\*.rle、\*.sgi、\*.targa、\*.tga、\*.tif、\*.tiff、\*.tod、\*.ts、\*.vda、\*.vob、\*.vro、\*.vst、\*.wmf、\*.wmv、\*.ac3、\*.wma、\*.mp2、\*.mp3、\*.wav、\*.w64、\*.m4a、\*.mpa、\*.ogg、\*.aif、\*.aiff

## ●ビデオコーデック

H.264/AVC、MPEG-2、Grass Valley HQ、Grass Valley HQX、Grass Valley Lossless、DV、DVCPR0、DVCPR0 HD、Motion JPEG、Apple ProRes、非圧縮 YUV、非圧縮 UYVY、非圧縮 v210、非圧縮 RGB、Windows Media Video、REDCODE、Sony RAW、Canon RAW

## ●オーディオコーデック

PCM、Dolby Digital (AC-3)、MPEG-4 AAC、MP3、Ogg Audio、Windows Media Audio

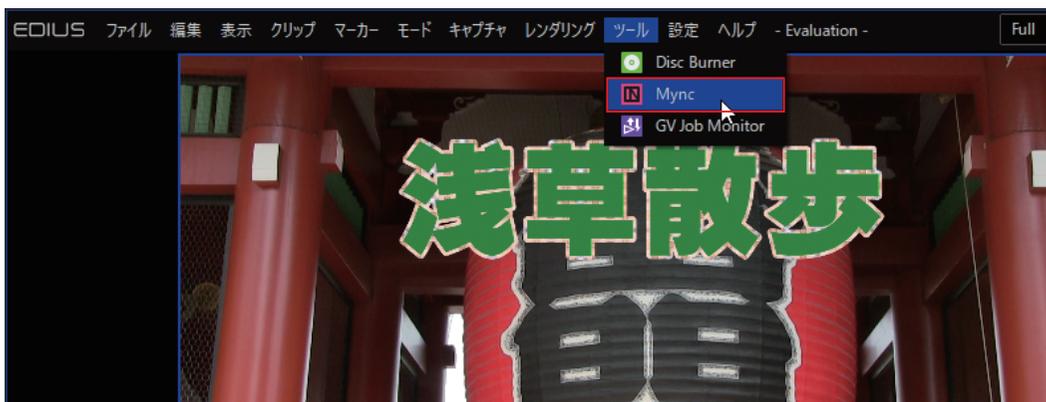
## CHECK!

次回から表示されないようにする  
次回からインフォメーションボードを表示させたくない場合は、一番下の「次回から表示しない」のチェックボックスをオンにしてから閉じます。

## ▶ EDIUS Pro から Mync を起動する

すでに EDIUS Pro が起動している場合は、EDIUS Pro 上から Mync を起動することができます。

EDIUS Proのメニューから Myncを起動する



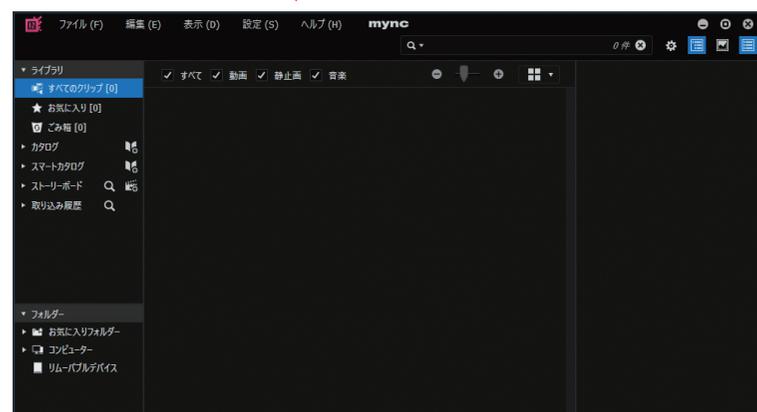
▲メニューから「ツール」→「Mync」を選択する。



▲インフォメーションボードが表示されたら「閉じる」ボタンをクリックする。

### CHECK!

**次回から表示されないようにする**  
次回からインフォメーションボードを表示させたくない場合は、一番下の「次回から表示しない」のチェックボックスをオンにしてから閉じます。



▲Myncが起動して編集画面が表示される。

### CHECK!

**単体販売の Mync は起動できない**  
EDIUS Pro から起動できるのは、EDIUS Pro に付属している Mync のみです。単体販売されている Mync は EDIUS Pro から起動できません。

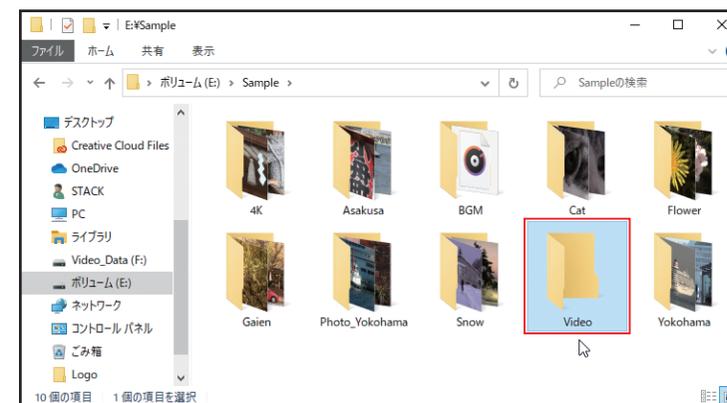
# 03

## ビデオカメラからクリップを取り込む

ここでは、パソコンに接続したビデオカメラから、ダイレクトに Mync に映像データを取り込む方法を解説します。ビデオカメラ以外のデバイスからも、同様の方法で取り込むことができます。

### ▶ 保存場所を設定する

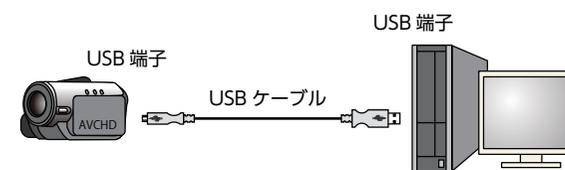
ビデオカメラなどのデバイス(周辺機器)から映像データを取り込む場合、取り込んだ映像データを保存しておくフォルダーを設定します。この設定は、Mync を起動する前でも後でもかまいません。画面では、Eドライブの「Sample」フォルダーの中に「Video」というフォルダーを作成した状態で解説しています。



▲Eドライブの「Sample」フォルダー内に「Video」という名前のフォルダーを作成する。

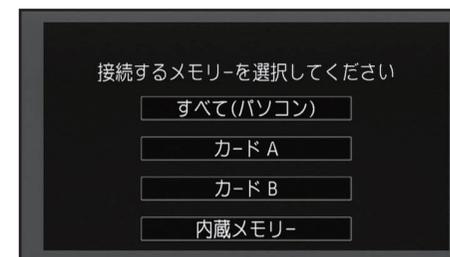
### ▶ ビデオカメラから取り込む

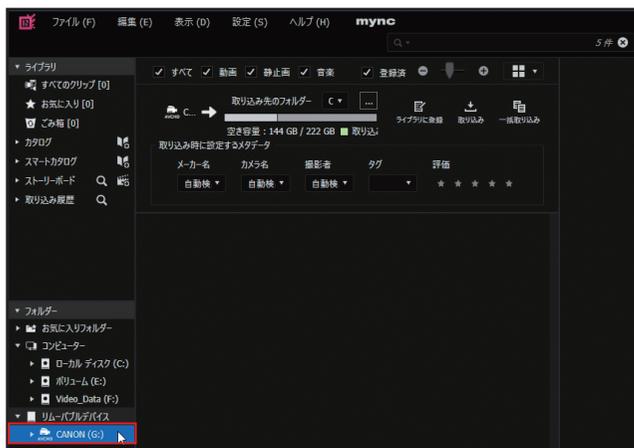
パソコンにビデオカメラを接続して、映像データを取り込んでみましょう。



### 1 パソコンにビデオカメラを接続する

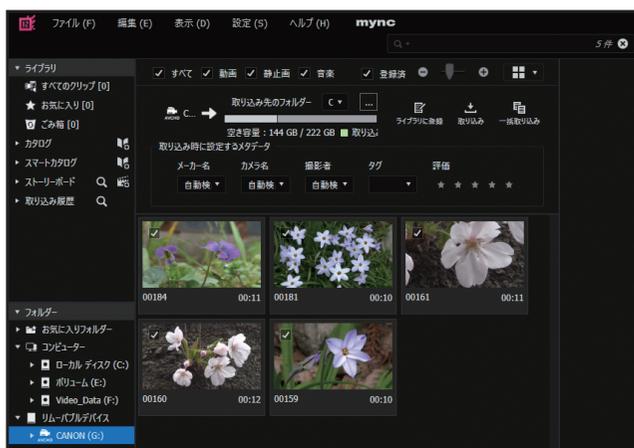
パソコンにビデオカメラを接続して、ビデオカメラとリンクさせます。リンクの方法はビデオカメラのマニュアルで確認しましょう。





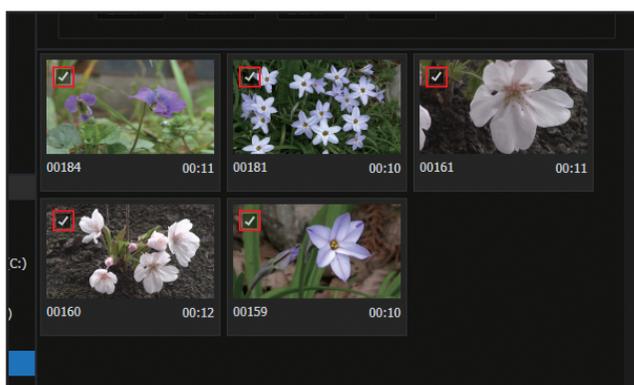
## 2 デバイス名をクリックする

パソコンにビデオカメラなどのデバイスを接続すると、Myncのサイドバーにある「リムーバブルデバイス」にデバイス名が表示されます。このデバイス名をクリックします。



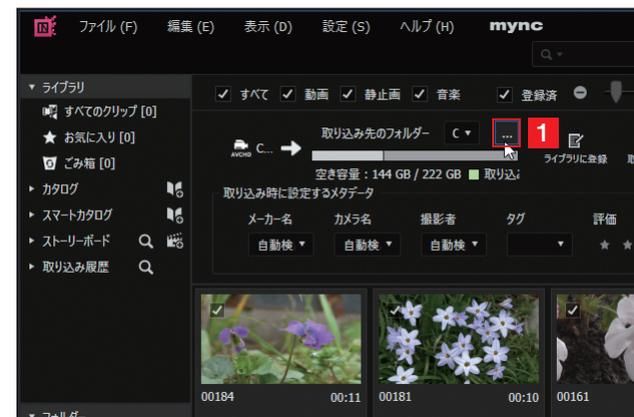
## 3 サムネイルが表示される

ビデオカメラ内にある映像データが、サムネイルとしてサムネイルペインに一覧表示されます。



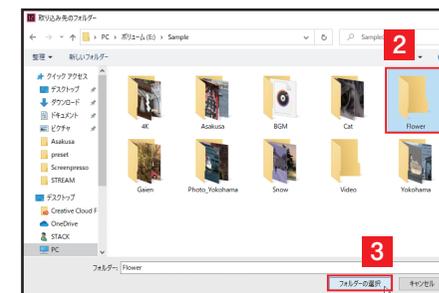
## 4 サムネイルにチェックを入れる

まだ Mync のライブラリに登録されていない映像データは、サムネイルの左上のチェックマークがオンの状態で表示されます。Mync に読み込みたくないデータはチェックマークをオフにします。基本的には全データを読み込んで、利用する／しないは Mync 側で判断するようにします。



## 5 保存先フォルダーを指定する

「取り込み先のフォルダー」の「...」ボタンをクリックし1、映像データを保存するフォルダーを指定して2、「フォルダーの選択」ボタンをクリックします3。



## 6 「取り込み」をクリックする

Myncの画面に戻り、「取り込み」ボタンをクリックすると、デバイスから指定したフォルダーへ映像データが取り込まれます。



## 7 クリップとして登録される

映像ファイルが読み込まれて、サムネイルの右下に赤い■が表示されます。動画ファイルは指定したフォルダーにコピーされています。

### POINT

#### 利用したビデオカメラ

本書で紹介している映像は、キャノンのビデオカメラ「G20」を利用して撮影しています。



## 04

ハードディスク／SSD 上から  
クリップを取り込む

ビデオカメラなどからコピーしたり、インターネットからダウンロードするなどして、パソコン上に保存した映像などの素材ファイルを、Myncに取り込んでみましょう。

## ▶ ハードディスク／SSD 上のデータを取り込む

映像ファイルなどの素材ファイルがパソコン上に保存されている場合は、指定フォルダーにコピーするのではなく、データ情報を Mync に登録して読み込ませます。



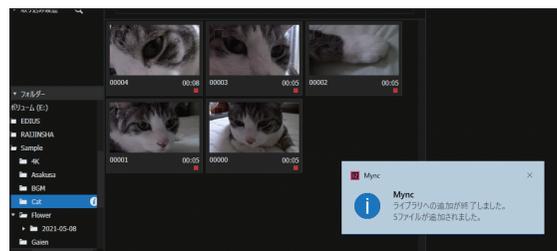
## 1 映像データが保存されているフォルダーを指定する

サイドバーの「フォルダー」から、映像データが保存されているフォルダーをクリックして選択します。



## 2 「ライブラリに登録」を選択する

クリップが保存されているフォルダーを右クリックし1、「ライブラリに登録」2→「ライブラリに登録」3の順で選択します。なお、サブフォルダーが存在し、そこにもクリップがある場合は、「ライブラリに登録（サブフォルダーを含める）」を選択します。



## 3 動画データが追加される

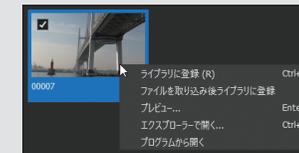
動画データの情報が追加されます。この時、取り込まれるのは動画データの保存場所の情報だけで、動画ファイルそのものは Mync にコピーで取り込まれるわけではありません。また、情報を追加したメッセージも Windows から表示されます。

## POINT

**取り込んだことを示す印**  
サムネイルの右下には、Myncに取り込んだことを示す赤い■が表示されます。

## CHECK!

**右クリックでの取り込み**  
サムネイルペインに表示されているサムネイルを右クリックすることでも、取り込む方法を選択できます。ファイル単位での取り込みなどで、この方法を利用すると便利です。



## CHECK!

## 取り込み方法の違い

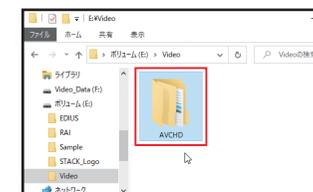
チェックした映像データなどの素材の取り込み結果は、取り込み方法によって異なります。



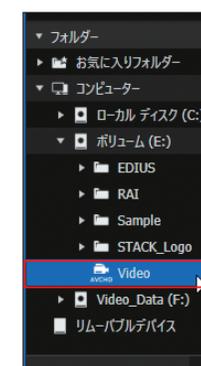
- 1 ライブラリに登録** チェックを入れたファイルがライブラリに登録されます。データファイル自体はフォルダーにコピーされません。ハードディスク／SSD 上に映像ファイルなどがある場合、ファイルを二重に保存することによる空き容量の不足を防ぐことができます。
- 2 取り込み** チェックを入れたファイルがライブラリに登録されると同時に、フォルダーにもコピーされます。
- 3 一括取り込み** チェックの有無にかかわらず、すべてのファイルをライブラリに登録して、フォルダーにもコピーします。

## ▶ ハードディスク／SSD 上にある AVCHD フォルダー

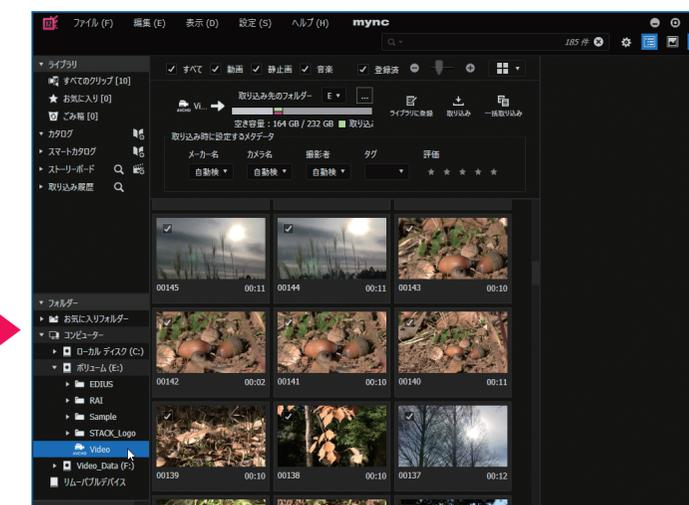
筆者もそうなのですが、ビデオカメラの映像データを外付けハードディスク／SSD などにコピーする場合は、よく AVCHD フォルダーごとコピーします。こうすると、Mync には AVCHD フォルダーが保存されているドライブやフォルダー（ここでは「Video」）が、「ビデオカメラ」として認識されます。



▲ハードディスク上にコピーされた AVCHD フォルダー。



▲「コンピューター」にあるドライブ名の中に、ビデオカメラとして表示される。



▲取り込みが実行できる。

## 05

## Myncの画面構成を確認する

Myncは操作に応じて、編集画面が自動的に切り替わります。ここでは、メインであるクリップ操作時と、映像データなどを取り込む際の画面構成について解説します。

## ▶ Myncのメインダイアログ

Myncでクリップを操作する際に表示されるメインダイアログについて解説します。Myncを起動すると、通常はこの状態で表示されます。

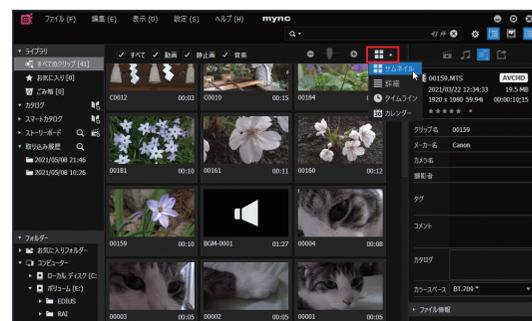


- 1 **メニューバー** Myncのコマンドを表示し、選択/実行できます。
- 2 **検索バー** Myncに登録したクリップを検索します。
- 3 **ツールバー** 画面レイアウトの切り替えや、Myncの設定ダイアログボックスを表示できます。
- 4 **サイドバー(ライブラリ)** サムネイルペインに表示されるカテゴリを切り替えます。たとえば、「すべてのクリップ」「カタログ」「スマートカタログ」などを切り替えて表示できます。
- 5 **サイドバー(フォルダー)** パソコン上のフォルダーがツリー状態で表示されます。パソコンのほか、ビデオカメラやSDメモリーカードなどもアイコンが表示され、内容を表示できます。

- 6 **切り替えバー** サムネイルとして表示されるデータタイプの選択や、サムネイルの表示方法を切り替えます。
- 7 **サムネイルペイン** クリックしたクリップやパソコン、デバイスのフォルダー内にある素材データをサムネイル形式で表示できます。
- 8 **プロパティペイン** サムネイルペインで選択したクリップの詳細情報が表示されます。

## ▶ 切り替えバーの「表示方法」で表示を変更する

「切り替えバー」にある「表示方法」ボタンをクリックすると、サムネイルペインでの表示を以下のように切り替えて表示できます。



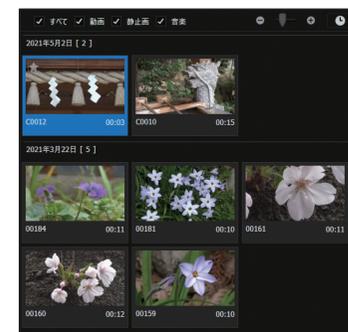
▲切り替えバーにある「表示方法」ボタン。

## 詳細



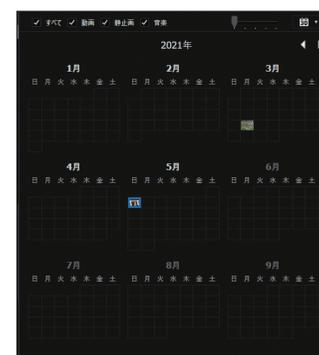
▲「詳細」で表示したサムネイルペイン。ファイル情報が同時に表示される。

## タイムライン

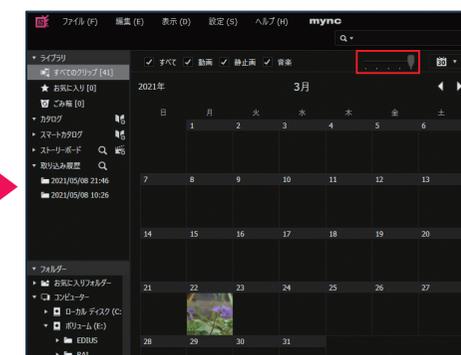


▲「タイムライン」で表示したサムネイルペイン。撮影した日付順(HDDにコピーした日付順)に表示される。

## カレンダー



▲「カレンダー」で表示したサムネイルペイン。カレンダーに撮影した日が表示される。



▲カレンダーのサイズは変更できる。

## ▶ 映像取り込み時の画面構成

映像データを取り込むとき、サイドバーにある「フォルダー」パネルでフォルダーやデバイスを選択すると、サムネイルペインの表示が変わります。ここでは、取り込みに関するさまざまな設定を行うことができます。



- 1 サムネイルペインに表示する素材のタイプを選択します。
- 2 取り込んだデータの保存先フォルダーを設定、変更します。
- 3 取り込み先フォルダーの場所や空き容量が表示されます。
- 4 取り込む素材に付加するメタデータを設定できます。

「フォルダー」パネル

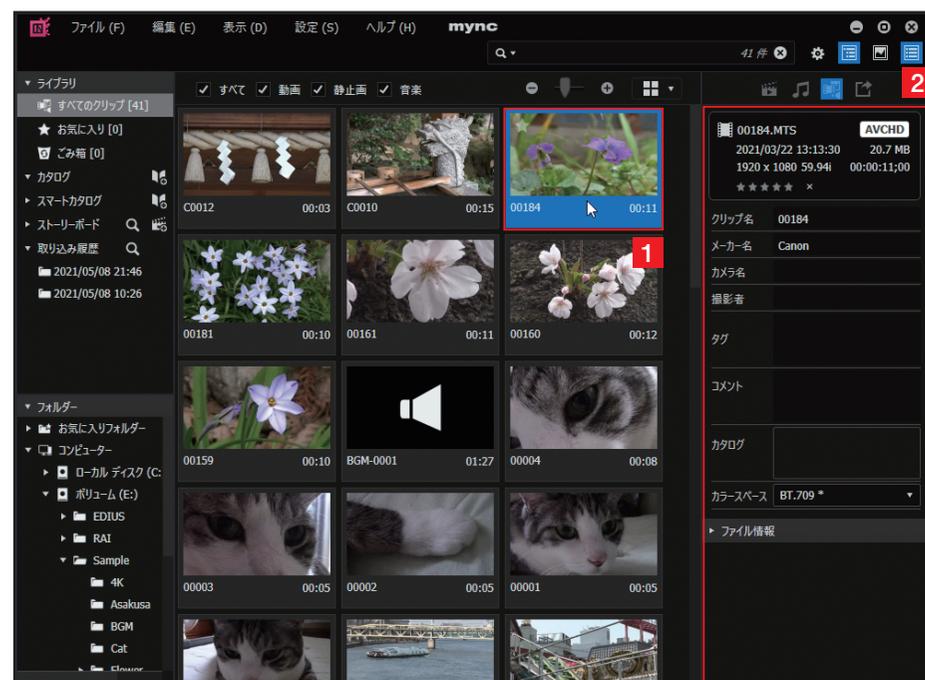
## 06

## 取り込んだクリップの情報を確認する

Myncに取り込んだクリップの情報を確認しましょう。Myncの「プロパティペイン」では、素材のファイル名やファイルフォーマット、撮影日、デュレーション(映像の長さ)などが確認できます。

## ▶ プロパティペインを利用する

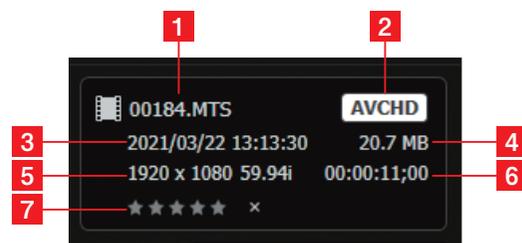
Myncの「プロパティペイン」を利用すると、取り込んだクリップの情報を確認したり、クリップに対してコメントを設定したりできます。素材の整理・管理にとっても便利な機能です。



▲クリップを選択すると1、プロパティペインにクリップ情報が表示される2。

## ●表示される情報

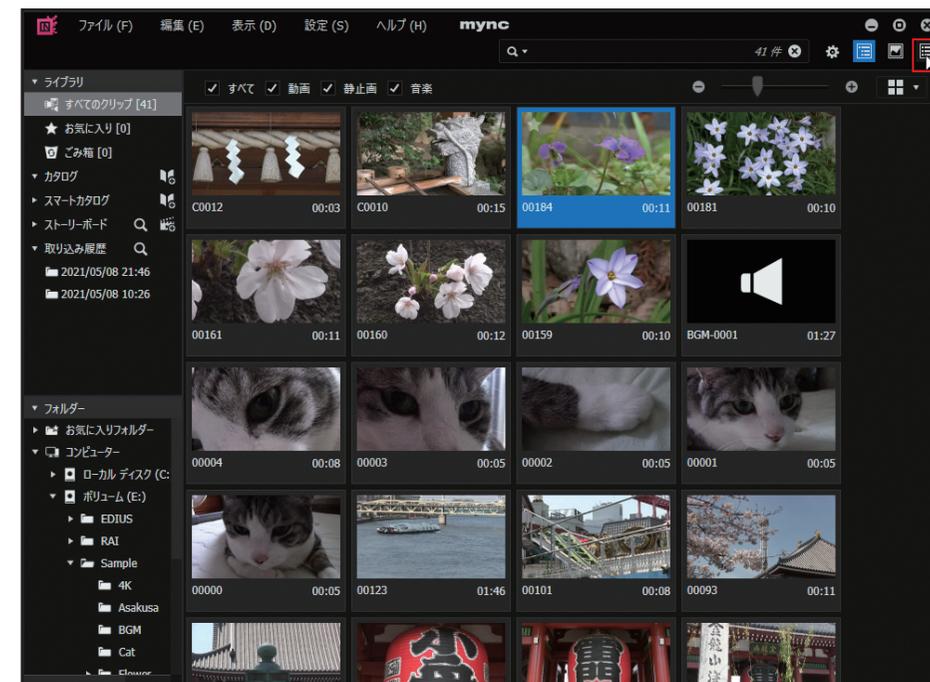
プロパティペインでは、以下のようなクリップ情報が確認できます。



- |   |            |   |                    |   |             |
|---|------------|---|--------------------|---|-------------|
| 1 | ファイル名      | 4 | ファイルサイズ            | 7 | お気に入り度設定ボタン |
| 2 | ファイルフォーマット | 5 | フレームサイズ            |   |             |
| 3 | 撮影日時       | 6 | デュレーション(クリップの再生時間) |   |             |

## ●プロパティペインを表示する

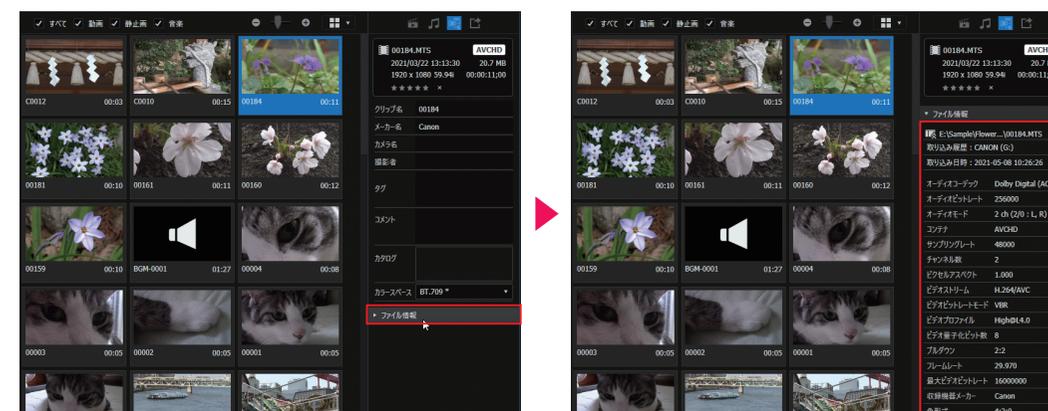
Myncを起動してもプロパティペインが表示されていない場合は、ツールバーの「プロパティ」をクリックするか、メニューバーの「表示」→「プロパティ」を選択して表示します。



▲ツールバーの「プロパティ」をクリックしてプロパティペインを表示させる。

## ▶ 詳細データを確認する

クリップのより詳細なデータを知りたい場合は「ファイル情報」を表示します。さらに詳細なファイルの情報を確認できます。



▲「ファイル情報」をクリックする。

▲詳細情報が表示される。

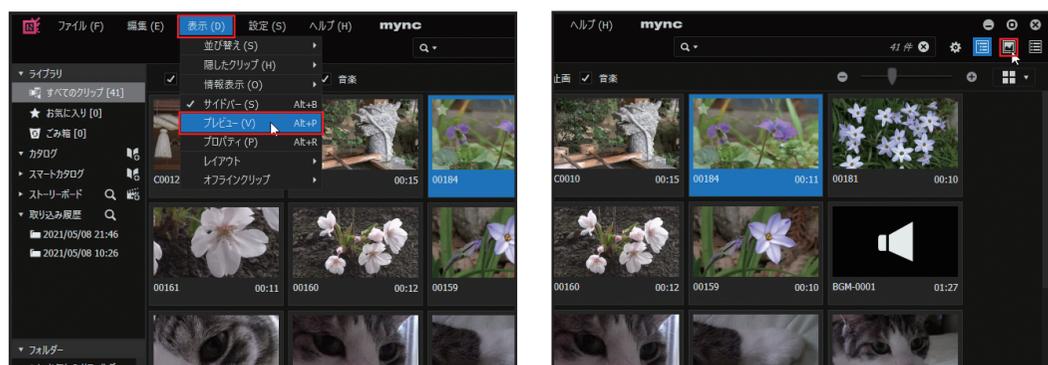
## 07

## Myncでクリップを再生する

Myncに取り込んでライブラリに登録したクリップを再生してみましょう。クリップを再生する方法は、「プレビューペイン」を利用する、ダブルクリックするなどがあります。

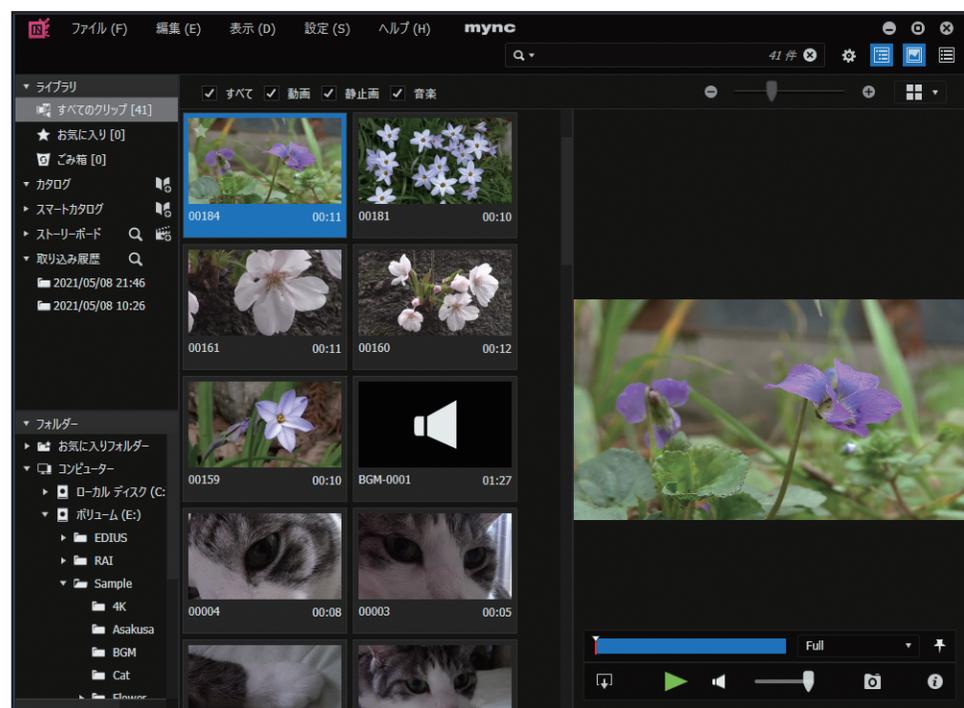
## ▶ プレビューペインを表示する

最初にプレビューペインを表示します。メニューバーの「表示」→「プレビュー」を選択するか、ツールバーの「プレビュー」ボタンをクリックします。



▲メニューバーの「表示」→「プレビュー」を選択するか…

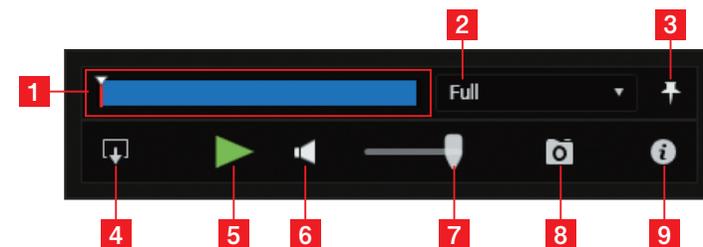
▲「プレビュー」ボタンをクリックすると…



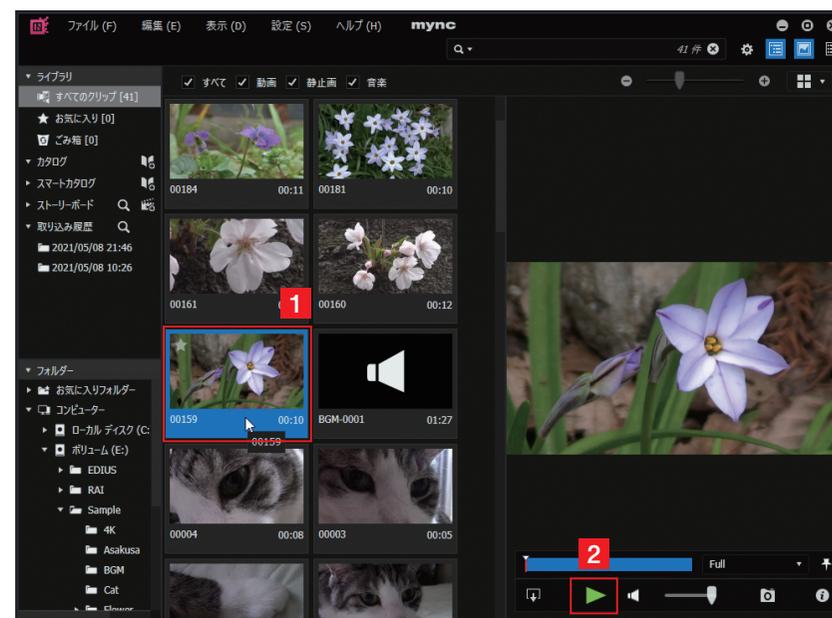
▲プレビューペインが表示される。なお、一覧でクリップが選択されていると、データがプレビューできる状態で表示される。

## ▶ クリップを再生する

プレビューペインが表示されたら、サムネイルペインで再生したいサムネイルを選択します。コントローラーの「再生」ボタンをクリックして、クリップを再生します。



- 1 タイムライン スライダー** スライダー(▽)を左右にドラッグして、内容を確認できます。
- 2 プレビュー品質** リアルタイム再生時の画質を変更できます。
- 3 操作エリアの表示/非表示** コントローラーを常時表示するかどうかを切り替えます。
- 4 チャンネル選択** 再生時の音声チャンネルを選択できます。
- 5 再生/一時停止** 再生を開始/一時停止します。
- 6 音声ミュート切り替え** 音声のオン/オフを切り替えます。
- 7 音量スライダー** 再生時の音量を調整します。
- 8 静止画の切り出し** 表示されているフレームを静止画像として出力します。出力した画像はライブラリに登録されます。
- 9 メニュー** プレビューペインから実行できるコマンドを選択するメニューが表示されます。

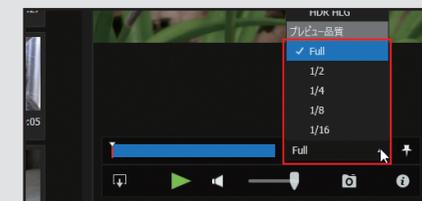


▲サムネイルを選択して**1**、「再生」ボタンをクリックすると**2**再生される。

## CHECK!

## ドラフトプレビュー

ノートパソコンなどで編集する場合は「プレビュー品質」を利用すると、プレビュー時の画質を選択することで、リアルタイム再生のパフォーマンスを変更できます。要するに、スムーズな再生が可能になります。また、EDIUS X Pro からカラースペース (P.45 参照) も選択できるように変更され、HDR のプレビューにも対応しています。



▲画質を選択できる。